

大壇の丘

運動会の組団決まる!

本校の運動会組団は、例年は3年生がパフォーマンスを行い、それを見た1, 2年生が、どの組団と組みたいかを学級毎に決めて申請し、重なった場合には野球のドラフト会議のように抽選して決まるシステムです。(ただし今回1年生は5クラスということで、生徒会歓迎会4/10のときに抽選で決定しています)。21日のアピール集会では3年生の各組団が春休みから取り組んできたパフォーマンスを披露しました。特に全員が一糸乱れぬ組団演舞は見応えがありましたが、これに1, 2年生が加わるとどうなっていくのがとても楽しみです。さて来週5月2日(金)が運動会開始集会、組団結成集会となっており、本格的に体育祭活動が始まります。3年生となって3週間ほどしか経っていませんが、様々な場面で最上級生として日々成長している3年生が、如何に1, 2年生をまとめていくかに注目したいと思います。



みんなそろって腰が低い白組の演舞

生徒会スローガン決定! 白光 ~輝く未来を全校で作出しよう~

生徒総会が行われました。生徒会執行部や代議員は事前に立ち位置をリハーサルするなどし、準備万端で本番を迎えました。今回の生徒総会の議案書はタブレットを使って行いましたが、体育館にWi-Fiが通ってないので(正確には50台分は接続可能)、議案書が上手く見られないということはありませんでしたが、概ね順調に進みました。様々な意見が出されましたが、講評の場面で生徒指導主事の真鍋先生から「意見の中で、生徒会執行部に『頑張ってください』という意見がありました。頑張るのは皆さんです。みんなが良い学校を作っていきましょう」との言葉がありました。生徒総会で承認されたということは、みんなが提案されたものに納得し、提案に添って行動すると確認したことになります。

是非、みんなでより良い学校を目指していきましょう。



みなさんは、危なく事故に遭うところだった!!といった「ヒヤッとした!」「ハッとした!」という経験はありませんか? これを「(日本語では)ヒヤリハット」と言い、「事故・災害防止のためのバイブル」として世界中に広まっています。これは「1件の重大事故の背後には29件の軽微な事故があり、さらにその背後には300件の異常が存在する」というもので、この300件の「ヒヤッとした!」「ハッとした!」が「ヒヤリハット」です。つまりヒヤリハットという事象は、単なる『たまたま』や『偶然』ではなく、その数が多くなれば重大事故につながるリスクが高くなることを表しています。このことから、ヒヤリハットを「危なかったけど事故らずラッキー!」で終わらせず、それを活かして再発防止に努めることが、重大事故を未然に防ぐ事につながります。さて、この春、地域の方々から危険な自転車の乗り方についての多くの情報が寄せられています。その都度、その地域の生徒を集めて集会をしていますが、今後、大きな事故につながらないか非常に危機感をもっています。大きな事故に遭わないように、また事故の加害者にならないよう、交通ルールをしっかりと守ってください。



スクールカウンセラー 勤務は毎週火曜日

『校報No2』でも紹介しましたが、本校では菅原文彦先生がカウンセラー(原則火曜日勤務で年間約30日、最大1日5枠)として勤務されています。昨年度は、延べ約130人のうち1日平均4.3人が菅原先生と話をしています。話をしたい人、聞いてもらいたいことや悩んでいることがある人は申し出てください。世間話だけでもかまいません。また本校では、「自分から申し出るのはちょっとハードルが高い」という人のために、本校では『何でも相談ポスト』というのを校内4カ所に設置しています。今回全校生徒の皆さんに相談用紙を4回分をA3に印刷紙に配付しておきますのでご活用してください。見本を裏面に印刷しましたのでご覧ください。また、相談者の15%弱は保護者の方々なので、保護者の方も何か相談したいこと等があれば遠慮なく申し出てください。*今年度の教育相談担当は主幹教諭の穴戸が担当しますので、担任または穴戸まで申し出てください。電話でも受付しています。



【南中生の活躍】

- 第3回青森バレエコンペティション
奨励賞 菊池咲羽 山本彩葉
- 令和7年度岩手県下中学校
ソフトテニス一関大会
男子の部 第2位 熊谷光輝 菊池煌成
第5位 坂井那瑠 伊藤聖真

表彰状

